

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム こころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成29年1月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成29年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理が出来る様に、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々との連携を密にし安全に安定した生活が出来る様に支援させて頂いております。又、四季折々の情緒を感じて頂く為にスタッフ一同レク係等々がご利用者様の楽しみ方について計画し実施出来る様に支援させて頂いております。(イチゴ狩り、ぶどう狩り、演劇鑑賞、外食、芋焚き、花火観賞等々)お一人お一人の残されている能力を最大限に生かせるように、日々ご利用者様とスタッフと一緒に試行錯誤し『出来る事の継続に』努めさせて頂いております。又音楽療法、回想法を使って脳の活性化に努めさせて頂いております。食事につきましても当グループの農園で採れた旬の野菜を使っての美味しい料理、美味しいおやつ作り等々食べ物への楽しみも笑顔の一つと思っておケアをさせて頂いております。(枝豆が出来たらずんだ餅を作ったりその前に枝豆のさやから豆を取って頂いたりする作業と一緒にさせて頂いたりしております。)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は看護師で、医療と密な連携に努め、今までに何人もの看取り経験があり、看取り目的で入居を希望する利用者もいる。24時間医療を受けられる体制が整えられており、本人と家族の希望が叶えられるよう受診支援が行われていることは安心につながっている。利用者の重度化が進み、介護に要する時間が増えており、管理者は職員の心と体の負担軽減を図るため、週3回専属の調理員を配置して職員が介護に専念できる環境を作る等、努力を重ねている。職員は利用者からの「ありがとう」の言葉を励みにして、利用者や家族、地域との信頼関係構築に努めている。明るく社交的な管理者は地域に根を深くおろした事業所を目標に、地域の行事や会議などに熱心に出席し、さらに地域の理解が得られるよう努めており、真摯で情熱ある動作や言葉、表情には脱帽することが多々感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム こころ

(ユニット名) あんず

記入者(管理者)  
氏名 向井 眞弓美

評価完了日 平成29年1月28日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 毎朝、申し送り時、又月1回のミーティング時にこころの基本理念、介護目標を唱和しケアの確認をしながら介護させて頂いております。(地域交流を含めた目標にしております。)</p> <p>(外部評価) 利用者や家族、地域の方々との信頼関係を大切にし、安心して穏やかで和のある生活が送れるよう支援できることを常とし「信頼、和(なごみ)、安心」の基本理念のもと、管理者は10項目の介護目標に添いながら地域との関わりを少しでも深く持ちたいと考え、機会あるごとにコミュニケーションを図っている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 松山市大清掃、河川敷掃除等々地域との交流を含めて参加させて頂いております。また、こころ祭りをを行い、地域の方々にも参加して頂ける様にチラシを配ったりして交流を図らせて頂いております。地区の会合にも参加させて頂いております。垣生地区防災計画作成会議、防災訓練等参加させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 町内会議には必ず管理者が出席し、地道な努力を重ねている。散歩の時には鯉や鴨、亀などに餌をあげたり、そこで教師に引率された小学生と出会って挨拶を交わすこともある。幼稚園の行事に招待され一緒に集合写真を撮るなど、仲睦まじく交流している。小学生の見学、中学生の体験学習、高校生の実習の受け入れもを行い利用者に好評である。「こころ祭」は法人の別事業所を会場にして、地域住民も参加して盛大に行っている。</p>	管理者は、地域に根ざし地域にとってなくてはならない事業所になりたいと考え努めてきたが、十分とは言えないと認識している。今後、地区組織へも働きかけを行い、理解を深めてもらうと共に信頼関係を広げていくことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 毎年のように市民大清掃、垣生河川敷等々の清掃に参加させて頂いております。また、利用者様との散歩時に水路の鯉、鴨、亀等々に餌をあげたり楽しみながら地域の方々とのコミュニケーションを取ったり、人探しにもスタッフ一同が積極的に参加させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に一度運営推進会議を行いホームでの取り組み等々報告さ せて頂いております。開催度にご家族様からのご意見等々気軽に お話し、相談等々お聞きできるように意見交換させて頂いており ます。又、一緒にお食事等々して頂きご家族様への関わりが多く なるように出来る限りの参加をお願いしております。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議は、利用者と家族の参加が多く、意見を聞ける良い 機会となっており、家族の情報を反映した介護計画の作成に役 立っている。会議と同時に開催した災害訓練において、ヘルメッ トを装着してはどうかという提案があり、座布団頭巾を作ってい る。議事内容は、ミーティングやケアカンファレンスで全職員に 報告して共有している。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>介護保険課との連絡を密に取り「？」と思う事は相談に出向いて 行ったり、お電話にてご指導を受けたり報告連絡相談をさせて頂 いております。又包括支援センター、GH、小規模多機能連絡会 に参加しは事業所との交流も図っております。生活保護課との連 携も密に取って支援させて頂いております。</p> <p>(外部評価)</p> <p>市担当者は運営推進会議に参加し、事業所の状況を把握してい る。利用者からの苦情対応の際、相談に乗ってもらって適切な対 応をすることができた。また、地域包括支援センターが開催する 事業所連絡会に参加して他事業所と交流を図ると共に、市が開催 する研修会に職員が参加している。生活福祉課職員と相談しなが ら支援を行う利用者もあり、市担当者と良好な人間関係を持ち、 指導助言を得ながら協力して利用者の支援に努めている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッ フへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、就床中 ベッドよりの転倒防止の為4点柵はせず、ベッドから落ちて怪 我がないように床にマットを敷き拘束をしまいように対応してお ります。それでも転落の恐れがあり骨折のリスクが高い時にはご 家族様、主治医とも相談をして理解して頂いてから4点柵をさせ て頂くケースもあります。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は個人チェック表を使用して年2回不適切なケアを行っていな いかチェックすることで、意識喚起を行っている。毎月実施する ミーティングで「個人情報保護法」「虐待」「言葉遣いについ て」研修している。日中玄関は開放しており、利用者は自由に 出入りすることができるが、玄関を一步出ると大きな道路となっ ているため、中扉にセンサーを取り付けて見守りをしている。ま た、夜間眠剤に頼らないよう昼寝は30分～1時間とするなど工 夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、いろいろな訴えに対して無視しない様に出来る限り関わって対応出来る様にスタッフ一同、作業にならない様に心あるケアを目標にさせて頂いております。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在意思決定が出来ない方はいませんが徐々に難しくなってきましたので、ご家族様の意向も傾聴しながら対応させて頂いております。スタッフの研修も内部研修、等々でスキルアップ出来る様に努めて行っております。又、生活福祉課共密に連絡を取り身寄りのいない方にも積極的に対応させて頂こうと思っております。(現在はいらっしゃいません)	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前にご利用者様、ご家族様に見学に来て頂きその時当事業所の取り組み、出来る事、出来ない事等々契約に関わる事、重要事項説明等々し納得していただいたら、契約を締結するようにしております。介護報酬等々の変更についても十分な説明を行い同意を得て運営させて頂いております。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時に十分な時間を取って検討したり、しています。その後ミーティング、ケアカンファレンス等々でスタッフに周知出来る様にしケアの向上に努めております。又、外部へは介護保険課包括支援センター、自治会長様等々へはこころ便りと共に報告させて頂いております。	
			(外部評価) 管理者はコミュニケーションを通して家族と信頼関係を構築することの重要性を職員に指導している。職員は家族面会時に、担当者がいなくても利用者の状態を報告するとともに、「大丈夫ですか」「要望ないですか」など声掛けをし、意見や要望をよく聞くよう努めている。また、毎月「こころ便り」を作成し、担当者が手紙を書いて送り、面会に来ることができない家族にも状況を伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会議を行い介護職員からの要望、又は代表者からの連絡事項等々を話し合いが出来るような機会がありミーティング、ケアカンファレンス等々で事業主からの業務連絡等々をスタッフ全員に、申し送り等々で送っております。  (外部評価) 職員は何でも言い合える関係ができていると感じており、ミーティングやカンファレンスを通して意見や提案を行い、ケアに反映させている。管理者は、定期的に職員と面談をする機会を設け、状況を把握して働きやすい環境を整えるよう努めている。利用者が重度化していく中で介護に要する時間が増えており、経営者と相談して調理専任職員を配置する等工夫しながら、職員の負担軽減を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者より年2回、又は管理者がスタッフの心身の管理が出来る様に、機会を見て面談したりしてスタッフの健康管理をして、勤務評価し代表者に相談しております。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部、外部研修の機会を図り、又必要に応じて外部より来て頂いたりして講習研修の機会を設けています。(包括支援センターにお願いをして認知症研修をしたりしました。)	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH・小規模多機能型の連絡会に参加し他の事業所の方々の悩み、当事業所等々あり方等々気軽に相談できる機会に参加させて頂いております。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 見学時、訪問時に本人様、ご家族様等々とお話ししご意向をお聞きするようにしております。又、介護支援専門員、相談員ソーシャルワーカー様とも密に連絡を取り、ご要望に添える様に計画作成し、ご利用者様に安心して生活が出来る様にゆっくりと焦らず対応していけるように努めております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学时、又は訪問時、ご利用者様、ご家族様が抱えておられる問題に対して当事業所で出来る事を提案して、ご家族様が安心して任せられるケア、又利用者様が安心して生活が出来る様に連絡を密に取り些細な事でも連絡をして努めております。また、月末には担当者がご様子をお手紙で報告させて頂いております。	
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 定期的な主治医による往診等々外部からの支援も必要に応じて健康的な生活が営めるように努めさせて頂いております。本人様の残されている機能を十分に発揮できるようにご本人様、ご家族様から情報を収集し自立への介護を目標にしております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように体調を伺いながら、出来る事をして頂き、『助けている、、私も役に立っている』という自信を持って生活できるように一緒にして、自信が喜びに変わるように努めております。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様にも関わって頂ける様に機会を設け、ご家族様の役割が十分いかされるように支援させて頂いております。介護技術も不十分であってもそっと見守り安全を確認しながら支援させて頂いております。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今までの生活の中での馴染みの物をもってきて頂き回想法を利用して認知症の進行を防止したりして介護させて頂いております。例えばアルバムをもってきていただいたり馴染みの筆筒をホームでも使って頂いたり、ご本人様の大切な人との時間が過ごせるような環境づくりに努めさせて頂いております。 (外部評価) 生活歴や環境、こだわり、今までのサービスの経過など、入居時に家族から詳しく聴き取り、培ってきた人間関係や社会との関係を把握して断ち切らないよう支援している。入居後も回想法や、音楽療法を用いて馴染みの関係や場所を聞き出すよう努めている。また、家族に人形やダンス、箸、茶碗など使っていたものを持ってきてもらうよう依頼したり、知人に来てもらうようお願いするなど、関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ユニットに拘らず18名の方々が寄り添えるようにイベント等共同で参加して頂いたりしてお互いが知らない人でないように、コミュニケーションが取れるような環境づくりに努めています。スタッフも同様に18名様のカアを全員で支援していけるように努めております。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院されて退所された時にもご家族様からご様子を知らせていただいたり、死亡で退所されたりしてもこころ祭りにボランティアで参加して下さったり等々気にかけていただいております。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) まず、ご本人様のご意向を情報収集時にいろいろとお話をしてケアプランの中に入れてさせていただくことを大切にさせていただきます。例えばカラオケが好きの方、釣りが好きの方、食べることが好きな方等々に、楽しみのある生活ができるように計画をしたりして支援させていただいております。困難な場合にはご家族様を巻き込んでご協力をしていただいております。 (外部評価) 認知症のレベルが進んでも喜びのある日々が過ごせるよう「できること」「できそうなこと」を一人ひとり見つけ、職員が見守りながら利用者と一緒にしている。すぐに忘れてしまう利用者もあり、その時その時を大切に対応している。家族に依頼して将棋やゴルフのパターを持ってきてもらったが、段々関心が薄れていく傾向がある。意志を表すことが困難な利用者は表情や動作を見ながら推測し、意向に沿えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の情報をご家族様からお聞きしたり、ご本人様からお聞きしたり、病院から来られた方には相談員様からまた、介護支援専門員様から等々お話を聞きし情報収集しスタッフ全員で共有しケアに役立てるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その方々の持っている力を生かせるように日常のコミュニケーションから見つけていき、できることはお願いをしてみて、できたことにお礼を言うと「お役に立ててうれしいです」とお言葉をいただいたりしています。その喜びに満ちた生活はとても充実感を感じられることが多く一日のリズムにもなっていると思われれます。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向をお伺いし、問題解決に取り組んでいます。ご本人様の意欲の欠如から目標達成までいけない場合には、ご家族様のご意向を何度となくお聞きしご意向に添えるように計画、実施していき、スタッフ全員で取組みトライアンドエラーで実施しています。(安全を確認しながら・・・)	
			(外部評価) 介護計画は利用者と家族の意向を大切に聞き取り、計画作成担当者が作成して、毎月開催するケアカンファレンスで話し合っている。3か月に1回、安定している人は6か月に1回介護計画を見直し、現状にあったものになっているか検討している。計画実施確認票とモニタリング表をケアプラン実施確認表に変更し、一枚にまとめて分かりやすくなっている。職員の気づきやアイデアは申し送りノートに記録して共有しており、介護記録には利用者の言葉や表情、しぐさ、行動、身体状況などが丁寧に記録され、暮らしの様子が伝わると共にモニタリングに活かされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って利用者様の体調の変化等々を共有し実施、体調の変化等々により計画の変更、留意点等々を送り日々積み重ねていっております。一時の事だったり不可逆だったりいろいろの変化に対応できるようにしてケアカンファレンスに役立てるように記録に残している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個別の要望がほかの方と重なるようであれば、楽しみがある生活への導き、対応させていただいております。食事への執着がある方が外で食事をしたいとのご要望に対して何人かで出かけていき、美味しい物を、また、好きな物を食べていただけるように外食のイベント計画をたてたりとして対応させていただいております。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の公園に出かけて行ったり、散歩のコースに水路の鯉に餌をやったり、カモに餌をやったりして地域の資源を有効に利用して心身のリフレッシュに勤めさせていただいております。(花火鑑賞、花を見たり、木の実幼稚園児と一緒に楽しんだり、小、中学生とのコミュニケーション、)	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入所に当たり主治医を決定していただいております。(時には在宅時に訪問診療を受けておられたDrが来てくださったり)と柔軟に選択ができるようにご希望を優先させていただいております。急変時には主治医へまた、ご家族様へ連絡を取りご意向に添った医療が受けれるように支援させていただいております。	
			(外部評価) 利用者が希望する医療機関で適切な医療が受けられるよう、看護師資格を持つ管理者が医療機関と密に連携して支援している。協力医による定期的訪問診療があり、急な発熱や骨折が疑われる場合は、協力医に連絡を取って指示を受け、適切に対処している。専門科の受診は家族が付き添い、診療情報は家族と事業所で共有し、ケアに活かせるよう努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 日常の健康状態の変化を介護職から毎日報告を受け日々申し送りに参加しており、往診時Drへ状態報告が適切にできるように報告相談を密にとり日々指示通りに管理できるように支援させていただいております。訪問看護ステーションを利用して適切なアドバイス等々受けれるように体制を整えております。(1/W訪問介護を利用)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ご本人様のこれからのケアについてご家族様のご意向、等々お聞きしたうえで、病院との連絡を密にし、リハビリ等々必要ケアについてはご指導を受けてのケア開始できるように支援させていただいております。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご本人様ご家族様の終末期における介護について当ホームでできないこと等々をご説明しご家族様の決定に添った看取りができるように支援させていただいております。終末期をご家族様と一緒に穏やかに迎えられるように主治医、ご家族様への連絡を取り不安なく看取れるようなお手伝いをさせていただいております。	
			(外部評価) 「利用者の重度化した場合における対応に係る指針」のマニュアルに添って、看取りについて契約時に家族に説明している。看取りケアを希望して入居する利用者もいる。最近看取りを行った利用者があり、管理者は泊まり込んで支援にあたっている。職員は「不安に思った」「家族との別れのような気持ちで愛おしみが深かった」などの感想を述べ、家族からも感謝の言葉をいただき、職員の励みになっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 常に私（管理者、看護師）に連絡があり主治医への連絡、ご家族様への連絡体制を整えております。事故時には主治医の指示に従い救急対応ができるように体制を整えております。またスタッフ一人一人が救命対応ができるように、徐々に救命講習に参加させていただいたり、インターネットによる訓練もさせていただいております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時マニュアルを作成し、火災地震、津波等々に備えており2月22日（日）に訓練予定している。火災訓練も同様に訓練をしてスタッフにも防災意識を高めるためにミーティング時等で話し合いをしている。備蓄品も充実できるように賞味期限等々のチェックもしている。また外部研修にて災害対策研修にも参加して他事業所との連携も図れるように勤めている。  (外部評価) 垣生地区防災計画作成会議には、経営者と管理者が出席して協力関係を構築するよう努めている。防災訓練には職員1名、利用者3名が参加した。事業所での訓練は運営推進会議と同時に行い、年2回火災と地震、風水害を想定して実施している。2階から利用者運び出すためのキャリーバッグを考案・特注して訓練に使っており好評である。備蓄品は3日分の水と食料のほか、コンロやガスボンベ、おむつ等が用意されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄のことをお聞きするとき等々大きな声で皆さんの前で聞かないように留意したり、お声掛けに配慮したり、失禁時、入浴時秘密の部分にも配慮するように勤めさせていただいております。ほかの利用者様が罵倒したりする方もおられるので、その時には少しお声掛けをしてみんなで一緒に見守られるように勤めさせていただいております。  (外部評価) 難聴の利用者には大きい声でトイレ誘導することもあり、管理者は耳元で声かけするよう指導している。居室の入室時は必ずノックをしている。利用者の髭剃りや身だしなみは職員が定期的にチェックするなど、整容はこまめに配慮している。入浴時同性介助を希望する利用者には、職員が交代して対応するなど羞恥心を感じさせないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 沢山の選択が難しい方に対して自己決定しやすいようにあらかじめこちらが選びやすいように支援させていただいております。季節に応じた衣服がご自分の選択で選べれるように支援したりしています。（夏服も冬服もわからない方等々）	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけお部屋での閉じこもりはしてほしくないのですが、ご満足できるようにお話ができる方々とのコミュニケーションが図れるような環境を作ったりしつつ、お好きなことができるような時間を作ったりと健康的な生活も踏まえながらも共同生活ができるように支援させていただいております。時間がかかってもこちらで動きやすいように介助しないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性を押し付けないように、こちらが変ではないかなあ？と思われる事も本人様の選択を尊重し、その思いを大切にしています。顔を洗えない方にはタオルをお渡ししたり、時には拭いて差し上げたりと適宜対応をさせていただいております。 (モーニングケア)	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好き嫌いの情報をもとに嫌いなものは押し付けずその方にあったような支援をごさせていただいております。また芋の皮をむいていただいたりして作る喜びも味わっていただきご自分で下準備したものを食べる喜びも味わってもらっております。おやつ等々も時には一緒に作っていただいたりして楽しんでいただいております。 (外部評価) 管理者は、タンパク質等栄養分を考慮して献立を作成し、各ユニットで調理している。経営者は食を大切に捉え、旬の食材や菜園で作った野菜の提供をしたり、週3日は調理専任の職員が調理を行うなど配慮している。食事前には口腔マッサージ等により、唾液の分泌を促す工夫をしている。ミキサー食など嚥下に配慮した食形態にしたり、声をかけあいながら二人体制で介助している。また、利用者に味付けやジャガイモの皮むき、下膳等を手伝ってもらったり、ホットケーキ等を一緒に作ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々計測し健康管理を含めて、また、主治医のご指導を受け脳梗塞、脱水防止等々認知症悪化防止も含めて支援させていただいております。水分摂取は少量ずつ頻回にを心掛けております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日昼食前に口腔体操をして嚥下がスムーズに継続できるように全員に実施しております。(モアブラシによるマッサージ ほか口腔体操を誤嚥性肺炎防止のためにも実施しております。)毎食後の歯磨き、入れ歯の手入れ等々もさせていただいております。また、訪問歯科による口腔ケア診察もお願いしております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価) 座位保持ができる限りトイレでの排泄を心掛けております。現在深夜一人での排泄介助のみ二人体制の利用者様はおむつ使用とし介助者が二人いる時にはリハビリパンツにてトイレでの排泄介助とさせていただきます。(緩下剤、下剤等々の薬を利用されての排便コントロールの方が多くなってきております。)</p> <p>(外部評価) 各ユニットに3か所トイレがあり、「便所」「御手洗」と表示して場所が分かるよう工夫している。職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はトイレで排泄できるよう支援している。頻尿で苦しんでいた利用者に対し、医師と相談しながら膀胱等排尿機能を高める訓練を1年かけて行い、今では通常の回数にまで回復している。職員は利用者の状態に応じた排泄用品を準備するなど、気持ち良く排泄できるよう支援している。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価) みんなで行う体操、個別のリハビリ等々で腸の蠕動運動が活発になるようにマッサージを行ったりしてフォローさせていただいております。また、繊維食にも注意しおやつに蒸しイモを食べていただいたり繊維食事を多くとれるように料理にも配慮しております。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価) 季節に応じてゆず湯、しょうぶ湯等々季節を感じながら入浴を楽しんでいただいております。また、入浴が嫌いな方に対しても穏やかに受け入れられるようなお声掛けをしたり、入浴後美味しい飲み物が出ますので・・等々何かを駆け引きに使う事もあつたりして清潔保持、入浴の目的が生かされるように支援させていただいております。</p> <p>(外部評価) 週2～3回の入浴が基本であるが、希望すれば毎日でも入浴することができる。浴槽への移動が困難な利用者のため、シャワーキャリーやリフターを設置し安全に入浴できるよう支援している。入浴を嫌がる利用者も多いが、声かけの方法を工夫したり協力医の訪問の際に入浴するなど、無理強いすることなく入浴できるよう支援している。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価) その方々の入眠状態、昼夜逆転等々を配慮しながら、ゆっくりと休めるように支援して行っております。夜間から早朝にかけて妄想が強く出られ不眠状態の方に対しても主治医とご家族様と相談しながら支援させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否がみられる時には時間をおいてお声掛けをしたり、スタッフの交代をしたりと穏やかになるのを待って服薬を確実にできるようにさせていただいております。服薬ミスがないようにご本人様のチェックをスタッフでダブルチェックをしそのうえトリプルチェックし確認印を押すように十分に注意して服薬確認をさせていただいております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用でお裁縫が得意な利用者様にズボンのほつれや破れを修理していただいたりとしております。また、幼稚園へのプレゼントに雑巾を縫って頂いたりして喜んでいただける喜びを感じていただいております。料理については当ホームの畑で収穫できた野菜のしる準備と一緒に手伝って頂いたりとしてできる喜びました、優越感にたっていたらただけてると感じています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) イベントの参加により演劇鑑賞、伊予漫才鑑賞ボランティアによるフラダンス等々楽しみのある外出支援をさせていただいております、また個別に買い物等々の要望に対して近くのスーパー（エミフル）等々に出かけてゆき楽しみのある生活への支援をさせていただいております。 (外部評価) 調査当日は日和に恵まれ、利用者はバルコニーに出てひなたぼっこを楽しんでいた。職員は、利用者が一日中事業所内で過ごすことがないよう努めており、重度の利用者も一緒に外出できるよう支援している。天気の良い日は、事業所近くの川にいる鯉や亀に餌やりをすることを楽しみに、散歩することを日課にしている。また、大型スーパーへ買い物に行ったり、ぶどう狩り、菜の花見学、隣町の池へドライブに行くなど、生き生き過ごせる工夫をしている。演劇鑑賞は利用者が手を叩いて大喜びするほど気に入るなど、利用者が行きたいところに外出し楽しい時間を過ごせるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の方、お金を持ち外出するとアルコールに走る方、お金の理解が亡くなった方が居られる為ホームでの現金は置かないようにしております。必要に応じて適宜スタッフと一緒に行き買い物は自由に行っていただいております。高額な買い物に関してはご家族様と一緒に外出して楽しんでいただいております。使用金額については事前にご家族様に連絡を取らせていただいております。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書かれる方については積極的に切手をご用意したり、ご家族様への連絡を希望される方についてはその都度リーダー、管理者等々が対応できるような体制を作っております。面会も少なくストレスを感じておられる様子が見られるときにはこちらからお電話させていただくこともあります。お声を聴くと落ち着かれる場合もあるので・・・	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節を身近に感じられるように廊下や壁に季節感のあるものを飾ってみたり、雰囲気作りにも勤めております。失禁があり匂いが充満しないように香りへの配慮も欠かさずさせていただいております。お部屋にはご家族様との写真だったり、孤独を感じないような環境にも注意させていただいております。  (外部評価) 畳スペースにソファを置いてゆっくりくつろげるよう配慮されている。居間にはお雛様が飾られており、利用者は3月が来るのを心待ちにしている。壁には節分の鬼の面を飾るなど季節感が漂うような作品づくりにも余念がない。また、習字やたくさん写真をうまく組み合わせ一枚に収めた「こころ便り」が貼られ、利用者にとって住まいとして心地よく、整理整頓が行き届いた清潔な生活空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 座位保持が出来なくなった方々に対しても、ターミナルに近い方も廃用症候群で退行現象が遅くなるように少しづつリビングに出てきて頂き、居室で一人ぼっちで過ごすことのないようにみんなの中で落ち着いたスペースとなるように支援したり、各々の力に応じた脳トレをしていただき楽しんで脳の活性化ができたり、写経を楽しまれる方等々共用の場所が居心地の良い場所となるように環境づくりに努めさせていただいております。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 孤独にならないようにご家族様との写真を置いたり、ご家族様がもってきてくださったものを置いたり（お花、ぬいぐるみ等々）してご自分の部屋にいて家族を感じられるよう、また、好きな事ができるように安全なスペースづくりにも配慮させていただいております。  (外部評価) 表札に写真を貼り部屋が分かるよう工夫している。エアコンや電動ベッド、収納家具が備え付けられ、家族の協力のもと、テレビや整理ダンス、家族写真や誕生祝の色紙、日本人形、ぬいぐるみなどが置かれ居心地のよい部屋になっている。また、ベッドサイドレールに手作りのカバーをかけ外傷予防に努めたり、天気の良い日には布団を干すなど、利用者が心地良く過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 残された力でお二人で協力してタオルをたたんだり、食事用のエプロンをたたんでいただいたり、料理の下準備をしていた抱いたり、汚物処理のための新聞紙を一枚ずつ折って頂いたり、洗濯物を干していただいたりご自分の洗濯物を整理していただいたりできる事への自立の喜びを長く感じていただけるように支援させていただいております。	

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム こころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成 29 年 1 月 28 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 29 年 2 月 13 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理が出来る様に、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々との連携を密にし安全に安定した生活が出来る様に支援させて頂いております。又、四季折々の情緒を感じ頂く為にスタッフ一同レク係等々がご利用者様の楽しみ方について計画し実施出来る様に支援させて頂いております。(イチゴ狩り、ぶどう狩り、演劇鑑賞、外食、芋焚き、花火観賞等々)お一人お一人の残されている能力を最大限に生かせるように、日々ご利用者様とスタッフと一緒に試行錯誤し『出来る事の継続に』努めさせて頂いております。又音楽療法、回想法を使って脳の活性化に努めさせて頂いております。食事につきましても当グループの農園で採れた旬の野菜を使っての美味しい料理、美味しいおやつ作り等々食べ物への楽しみも笑顔の一つと思ってケアをさせて頂いております。(枝豆が出来たらずんだ餅を作ったりその前に枝豆のさやから豆を取って頂いたりする作業と一緒にさせて頂いたりしております。)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は看護師で、医療と密な連携に努め、今までに何人もの看取り経験があり、看取り目的で入居を希望する利用者もいる。24時間医療を受けられる体制が整えられており、本人と家族の希望が叶えられるよう受診支援が行われていることは安心につながっている。利用者の重度化が進み、介護に要する時間が増えており、管理者は職員の心と体の負担軽減を図るため、週3回専属の調理員を配置して職員が介護に専念できる環境を作る等、努力を重ねている。職員は利用者からの「ありがとう」の言葉を励みにして、利用者と家族、地域との信頼関係構築に努めている。明るく社交的な管理者は地域に根を深くおろした事業所を目標に、地域の行事や会議などに熱心に出席し、さらに地域の理解が得られるよう努めており、真摯で情熱ある動作や言葉、表情には脱帽することが多々感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		



## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム こころ

(ユニット名) かりん

記入者(管理者)  
氏名 向井 眞弓美

評価完了日 平成29年1月28日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎朝、申し送り時、又月1回のミーティング時にこころの基本理念、介護目標を唱和しケアの確認をしながら介護させて頂いております。 (地域交流を含めた目標にしております。)	
			(外部評価) 利用者や家族、地域の方々との信頼関係を大切に、安心して穏やかで和のある生活が送れるよう支援できることを常とし「信頼、和(なごみ)、安心」の基本理念のもと、管理者は10項目の介護目標に添いながら地域との関わりを少しでも深く持ちたいと考え、機会あるごとにコミュニケーションを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 松山市大清掃、河川敷掃除等々地域との交流を含めて参加させて頂いております。また、こころ祭りをを行い、地域の方々にも参加して頂ける様にチラシを配ったりして交流を図らせて頂いております。地区の会合にも参加させて頂いております。垣生地区防災計画作成会議、防災訓練等参加させて頂いております。	
			(外部評価) 町内会議には必ず管理者が出席し、地道な努力を重ねている。散歩の時には鯉や鴨、亀などに餌をあげたり、そこで教師に引率された小学生と出会って挨拶を交わすこともある。幼稚園の行事に招待され一緒に集合写真を撮るなど、仲睦まじく交流している。小学生の見学、中学生の体験学習、高校生の実習の受け入れも行い利用者に好評である。「こころ祭」は法人の別事業所を会場にして、地域住民も参加して盛大に行っている。	管理者は、地域に根ざし地域にとってなくてはならない事業所になりたいと考え努めてきたが、十分とは言えないと認識している。今後、地区組織へも働きかけを行い、理解を深めてもらうと共に信頼関係を広げていくことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 毎年のように市民大清掃、垣生河川敷等々の清掃に参加させて頂いております。また、利用者様との散歩時に水路の鯉、鴨、亀等々に餌をあげたり楽しみながら地域の方々とのコミュニケーションを取ったり、人探しにもスタッフ一同が積極的に参加させて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<p>(自己評価) 2か月に一度運営推進会議を行いホームでの取り組み等々報告させて頂いております。開催度にご家族様からのご意見等々気軽にお話し、相談等々お聞きできるように意見交換させて頂いております。又、一緒にお食事等々して頂きご家族様への関わりが多くなるように出来る限りの参加をお願いしております。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は、利用者と家族の参加が多く、意見を聞ける良い機会となっており、家族の情報を反映した介護計画の作成に役立っている。会議と同時に開催した災害訓練において、ヘルメットを装着してはどうかという提案があり、座布団頭巾を作っている。議事内容は、ミーティングやケアカンファレンスで全職員に報告して共有している。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<p>(自己評価) 介護保険課との連絡を密に取り「？」と思う事は相談に出向いて行ったり、お電話にてご指導を受けたり報告連絡相談をさせて頂いております。又包括支援センター、GH、小規模多機能連絡会に参加しは事業所との交流も図っております。生活保護課との連携も密に取って支援させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 市担当者は運営推進会議に参加し、事業所の状況を把握している。利用者からの苦情対応の際、相談に乗ってもらって適切な対応をすることができた。また、地域包括支援センターが開催する事業所連絡会に参加して他事業所と交流を図ると共に、市が開催する研修会に職員が参加している。生活福祉課職員と相談しながら支援を行う利用者もあり、市担当者と良好な人間関係を持ち、指導助言を得ながら協力して利用者の支援に努めている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、就床中ベッドよりの転倒防止の為4点柵はせず、ベッドから落ちて怪我がないように床にマットを敷き拘束をしまいように対応しております。それでも転落の恐れがあり骨折のリスクが高い時にはご家族様、主治医とも相談をして理解させて頂いてから4点柵をさせて頂くケースもあります。</p> <p>(外部評価) 職員は個人チェック表を使用して年2回不適切なケアを行っていないかチェックすることで、意識喚起を行っている。毎月実施するミーティングで「個人情報保護法」「虐待」「言葉遣いについて」研修している。日中玄関は開放しており、利用者は自由に出入りすることができるが、玄関を一步出ると大きな道路となっているため、中扉にセンサーを取り付けて見守りをしている。また、夜間眠剤に頼らないよう昼寝は30分～1時間とするなど工夫している。</p>	

自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、いろいろな訴えに対して無視しない様に出来る限り関わって対応出来る様にスタッフ一同、作業にならない様に心あるケアを目標にさせて頂いております。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在意思決定が出来ない方はいませんが徐々に難しくなってきましたので、ご家族様の意向も傾聴しながら対応させて頂いております。スタッフの研修も内部研修、等々でスキルアップ出来る様に努めて行っております。又、生活福祉課共密に連絡を取り身寄りのいない方にも積極的に対応させて頂こうと思っております。(現在はいらっしゃいません)	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前にご利用者様、ご家族様に見学に来て頂きその時当事業所の取り組み、出来る事、出来ない事等々契約に関わる事、重要事項説明等々し納得していただいたら、契約を締結するようにしております。介護報酬等々の変更についても十分な説明を行い同意を得て運営させて頂いております。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時に十分な時間を取って検討したり、しています。その後ミーティング、ケアカンファレンス等々でスタッフに周知出来る様にしケアの向上に努めております。又、外部へは介護保険課包括支援センター、自治会長様等々へはこころ便りと共に報告させて頂いております。 (外部評価) 管理者はコミュニケーションを通して家族と信頼関係を構築することの重要性を職員に指導している。職員は家族面会時に、担当者がいなくても利用者の状態を報告するとともに、「大丈夫ですか」「要望ないですか」など声掛けをし、意見や要望をよく聞くよう努めている。また、毎月「こころ便り」を作成し、担当者が手紙を書いて送り、面会に来ることができない家族にも状況を伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会議を行い介護職員からの要望、又は代表者からの連絡事項等々を話し合いが出来るような機会がありミーティング、ケアカンファレンス等々で事業主からの業務連絡等々をスタッフ全員に、申し送り等々で送っております。  (外部評価) 職員は何でも言い合える関係ができており、ミーティングやカンファレンスを通して意見や提案を行い、ケアに反映させている。管理者は、定期的に職員と面談をする機会を設け、状況を把握して働きやすい環境を整えるよう努めている。利用者が重度化していく中で介護に要する時間が増えており、経営者と相談して調理専任職員を配置する等工夫しながら、職員の負担軽減を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者より年2回、又は管理者がスタッフの心身の管理が出来る様に、機会を見て面談したりしてスタッフの健康管理をして、勤務評価し代表者に相談しております。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部、外部研修の機会を図り、又必要に応じて外部より来て頂いたりして講習研修の機会を設けています。(包括支援センターをお願いをして認知症研修をしたりしました。)	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH・小規模多機能型の連絡会に参加し他の事業所の方々の悩み、当事業所等々あり方等々気軽に相談できる機会に参加させて頂いております。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 見学时、訪問時に本人様、ご家族様等々とお話ししご意向をお聞きするようにしております。又、介護支援専門員、相談員ソーシャルワーカー様とも密に連絡を取り、ご要望に添える様に計画作成し、ご利用者様に安心して生活が出来る様にゆっくりと焦らず対応して頂けるように努めております。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学时、又は訪問時、ご利用者様、ご家族様が抱えておられる問題に対して当事業所で出来る事を提案して、ご家族様が安心して任せられるケア、又利用者様が安心して生活が出来る様に連絡を密に取り些細な事でも連絡をして努めております。また、月末には担当者がご様子をお手紙で報告させて頂いております。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 定期的な主治医による往診等々外部からの支援も必要に応じて健康的な生活が営めるように努めさせて頂いております。本人様の残されている機能を十分に発揮できるようにご本人様、ご家族様から情報を収集し自立への介護を目標にしております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように体調を伺いながら、出来る事をして頂き、『助けている、、私も役に立っている』という自信を持って生活できるように一緒にして、自信が喜びに変われるように努めております。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様にも関わって頂ける様に機会を設け、ご家族様の役割が十分いかされるように支援させて頂いております。介護技術も不十分であつてもそっと見守り安全を確認しながら支援させて頂いております。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今までの生活の中での馴染みの物をもってきて頂き回想法を利用して認知症の進行を防止したりして介護させて頂いております。例えばアルバムをもってきていただいたり馴染みの筆筒をホームでも使って頂いたり、ご本人様の大切な人との時間が過ごせるような環境づくりに努めさせて頂いております。	
			(外部評価) 生活歴や環境、こだわり、今までのサービスの経過など、入居時に家族から詳しく聴き取り、培ってきた人間関係や社会との関係を把握して断ち切らないよう支援している。入居後も回想法や、音楽療法を用いて馴染みの関係や場所を聞き出すよう努めている。また、家族に人形やダンス、箸、茶碗など使っていたものを持ってきてもらうよう依頼したり、知人に来てもらうようお願いするなど、関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ユニットに拘らず18名の方々が寄り添えるようにイベント等合同で参加して頂いたりしてお互いが知らない人でないように、コミュニケーションが取れるような環境づくりに努めています。スタッフも同様に18名様へのケアを全員で支援していけるように努めております。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院されて退所された時にもご家族様からご様子を知らせていただいたり、死亡で退所されたりしてもこころ祭りにボランティアで参加して下さったり等々気にかけていただいております。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) まず、ご本人様のご意向を情報収集時にいろいろとお話をしてケアプランの中に入れさせていただくことを大切にさせていただきます。例えばカラオケが好きの方、釣りが好きの方、食べることが好きの方等々に、楽しみのある生活ができるように計画をしたりして支援させていただいております。困難な場合にはご家族様を巻き込んでご協力をしていただいております。 (外部評価) 認知症のレベルが進んでも喜びのある日々が過ごせるよう「できること」「できそうなこと」を一人ひとり見つけ、職員が見守りながら利用者と一緒にしている。すぐに忘れてしまう利用者もあり、その時その時を大切に対応している。家族に依頼して将棋やゴルフのパターを持ってきてもらったが、段々関心が薄れていく傾向がある。意志を表すことが困難な利用者は表情や動作を見ながら推測し、意向に沿えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の情報をご家族様からお聞きしたり、ご本人様からお聞きしたり、病院から来られた方には相談員様からまた、介護支援専門員様から等々お話を聞き情報収集しスタッフ全員で共有しケアに役立てるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その方々の持っている力を生かせるように日常のコミュニケーションから見つけていき、できることはお願いをしてみて、できたことにお礼を言うと「お役に立ててうれしいです」とお言葉をいただいたりしています。その喜びに満ちた生活はとても充実感を感じられることが多く一日のリズムにもなっていると思っております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向をお伺いし、問題解決に取り組んでいますがご本人様の意欲の欠如から目標達成までいけない場合には、ご家族様のご意向を何度となくお聞きしご意向に添えるように計画、実施していき、スタッフ全員で取組みトライアンドエラーで実施しています。(安全を確認しながら・・・)	
			(外部評価) 介護計画は利用者と家族の意向を大切に聞き取り、計画作成担当者が作成して、毎月開催するケアカンファレンスで話し合っている。3か月に1回、安定している人は6か月に1回介護計画を見直し、現状にあったものになっているか検討している。計画実施確認票とモニタリング表をケアプラン実施確認表に変更し、一枚にまとめて分かりやすくなっている。職員の気づきやアイデアは申し送りノートに記録して共有しており、介護記録には利用者の言葉や表情、しぐさ、行動、身体状況などが丁寧に記録され、暮らしの様子が伝わると共にモニタリングに活かされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って利用者様の体調の変化等々を共有し実施、体調の変化等々により計画の変更、留意点等々を送り日々積み重ねていっております。一時の事だったり不可逆だったりいろいろの変化に対応できるようにしてケアカンファレンスに役立てるように記録に残している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個別の要望がほかの方と重なるようであれば、楽しみがある生活への導き、対応させていただいております。食事への執着がある方が外で食事をしたいとのご要望に対して何人かで出かけていき、美味しい物を、また、お好きな物を食べていただけるように外食のイベント計画をたてたりとして対応させていただいております。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の公園に出かけて行ったり、散歩のコースに水路の鯉に餌をやったり、カモに餌をやったりして地域の資源を有効に利用して心身のリフレッシュに勤めさせていただいております。(花火鑑賞、花を見たり、木の実幼稚園児と一緒に楽しんだり、小、中学生とのコミュニケーション、)	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 入所に当たり主治医を決定していただいております。(時には在宅時 に訪問診療を受けておられたDrが来てくださったり)と柔軟に選択が できるようにご希望を優先させていただいております。急変時には主 治医へまた、ご家族様へ連絡を取りご意向に添った医療が受けれるよ うに支援させていただいております。</p> <p>(外部評価) 利用者が希望する医療機関で適切な医療が受けられるよう、看護師資 格を持つ管理者が医療機関と密に連携して支援している。協力医によ る定期的訪問診療があり、急な発熱や骨折が疑われる場合は、協力医 に連絡を取って指示を受け、適切に対処している。専門科の受診は家 族が付き添い、診療情報は家族と事業所で共有し、ケアに活かせるよ う努めている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 日常の健康状態の変化を介護職から毎日報告を受け日々申し送りに参 加しており、往診時Drへ状態報告が適切にできるように報告相談を密 にとり日々指示通りに管理できるように支援させていただいております。 訪問看護ステーションを利用して適切なアドバイス等々受けれる ように体制を整えております。(1/W訪問介護を利用)</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) ご本人様のこれからのケアについてご家族様のご意向、等々お聞きし たうえで、病院との連絡を密にし、リハビリ等々必要ケアについては ご指導を受けてのケア開始できるように支援させていただいております。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) ご本人様ご家族様の終末期における介護について当ホームでできるこ とできないこと等々をご説明しご家族様の決定に添った看取りができ るように支援させていただいております。終末期をご家族様と一緒に 穏やかに迎えられるように主治医、ご家族様への連絡を取り不安なく 看取れるようなお手伝いをさせていただいております。</p> <p>(外部評価) 「利用者の重度化した場合における対応に係る指針」のマニュアルに 添って、看取りについて契約時に家族に説明している。看取りケアを 希望して入居する利用者もいる。最近看取りを行った利用者があり、 管理者は泊まり込んで支援にあたっている。職員は「不安に思った」 「家族との別れのような気持ちで愛おしみが深かった」などの感想を 述べ、家族からも感謝の言葉をいただき、職員の励みになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 常に私(管理者、看護師)に連絡があり主治医への連絡、ご家族様への連絡体制を整えております。事故時には主治医の指示に従い救急対応ができるように体制を整えております。またスタッフ一人一人が救命対応ができるように、徐々に救命講習に参加させていただいたり、インターネットによる訓練もさせていただいております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時マニュアルを作成し、火災地震、津波等々に備えており2月22日(日)に訓練予定している。火災訓練も同様に訓練をしてスタッフにも防災意識を高めるためにミーティング時等々で話し合いをしている備蓄品も充実できるように賞味期限等々のチェックもしている。また外部研修にて災害対策研修にも参加して他事業所との連携も図れるように勤めている。 (外部評価) 垣生地区防災計画作成会議には、経営者と管理者が出席して協力関係を構築するよう努めている。防災訓練には職員1名、利用者3名が参加した。事業所での訓練は運営推進会議と同時に行い、年2回火災と地震、風水害を想定して実施している。2階から利用者を運び出すためのキャリーバッグを考案・特注して訓練に使っており好評である。備蓄品は3日分の水と食料のほか、コンロやガスボンベ、おむつ等が用意されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄のことをお聞きするとき等々大きな声で皆さんの前で聞かないように留意したり、お声掛けに配慮したり、失禁時、入浴時秘密の部分にも配慮するように勤めさせていただいております。ほかの利用者様が罵倒したりする方もおられるので、その時には少しお声掛けをしてみんなで一緒に見守られるように勤めさせていただいております。 (外部評価) 難聴の利用者には大きい声でトイレ誘導することもあり、管理者は耳元で声かけするよう指導している。居室の入室時は必ずノックをしている。利用者の髭剃りや身だしなみは職員が定期的にチェックするなど、整容はこまめに配慮している。入浴時同性介助を希望する利用者には、職員が交代して対応するなど羞恥心を感じさせないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 沢山の選択が難しい方に対して自己決定しやすいようにあらかじめこちらが選びやすいように支援させていただいております。季節に応じた衣服がご自分の選択で選べるように支援したりしています。(夏服も冬服もわからない方等々)	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけお部屋での閉じこもりはしてほしくないのですが、ご満足できるようにお話ができる方々とのコミュニケーションが図れるような環境を作ったりしつつ、好きなことができるような時間を作ったりと健康的な生活も踏まえながらも共同生活ができるように支援させていただいております。時間がかかってもこちらで動きやすいように介助しないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性を押し付けないように、こちらが変ではないかなあ？と思われる事も本人様の選択を尊重し、その思いを大切にしています。お顔を洗えない方にはタオルをお渡ししたり、時には拭いて差し上げたりと適宜対応をさせていただいております。(モーニングケア)	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好き嫌いの情報をもとに嫌いなものは押し付けずその方にあつたような支援をごさせてさせていただいております。また芋の皮をむいていただいたりして作る喜びも味わっていただきご自分で下準備したものを食べる喜びも味わってもらっております。おやつ等々も時には一緒に作っていただいたりして楽しんでいただいております。	
			(外部評価) 管理者は、タンパク質等栄養分を考慮して献立を作成し、各ユニットで調理している。経営者は食を大切に捉え、旬の食材や菜園で作った野菜の提供をしたり、週3日は調理専任の職員が調理を行うなど配慮している。食事前には口腔マッサージ等により、唾液の分泌を促す工夫をしている。ミキサー食など嚥下に配慮した食形態にしたり、声をかけあいながら二人体制で介助している。また、利用者に味付けやジャガイモの皮むき、下膳等を手伝ってもらったり、ホットケーキ等を一緒に作ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々計測し健康管理を含めて、また、主治医のご指導を受け脳梗塞、脱水防止等々認知症悪化防止も含めて支援させていただいております。水分摂取は少量ずつ頻回にを心掛けております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日昼食前に口腔体操をして嚥下がスムーズに継続できるように全員に実施しております。(モアブラシによるマッサージ ほか口腔体操を誤嚥性肺炎防止のためにも実施しております。) 毎食後の歯磨き、入れ歯の手入れ等々もさせていただいております。また、訪問歯科による口腔ケア診察もお願いしております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価) 座位保持ができる限りトイレでの排泄を心掛けております。現在深夜一人での排泄介助のみ二人体制の利用者様はおむつ使用とし介助者が二人いる時にはリハビリパンツにてトイレでの排泄介助とさせていただいております。(緩下剤、下剤等々の薬を利用されての排便コントロールの方が多くなってきております。)</p> <p>(外部評価) 各ユニットに3か所トイレがあり、「便所」「御手洗」と表示して場所が分かるよう工夫している。職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はトイレで排泄できるよう支援している。頻尿で苦しんでいた利用者に対し、医師と相談しながら膀胱等排尿機能を高める訓練を1年かけて行い、今では通常の回数にまで回復している。職員は利用者の状態に応じた排泄用品を準備するなど、気持ち良く排泄できるよう支援している。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価) みんなでやる体操、個別のリハビリ等々で腸の蠕動運動が活発になるようにマッサージを行ったりしてフォローさせていただいております。また、繊維食にも注意しおやつに蒸しイモを食べていただいたり繊維食事を多くとれるように料理にも配慮しております。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価) 季節に応じてゆず湯、しょうぶ湯等々季節を感じながら入浴を楽しんでいただいております。また、入浴が嫌いな方に対しても穏やかに受け入れられるようなお声掛けをしたり、入浴後美味しい飲み物が出ますので・・等々何かを駆け引きに使う事もあつたりして清潔保持、入浴の目的が生かされるように支援させていただいております。時には入浴の大切さを主治医に助けて頂き主治医が来られた時に入る事も度々あります。</p> <p>(外部評価) 週2～3回の入浴が基本であるが、希望すれば毎日でも入浴することができる。浴槽への移動が困難な利用者のため、シャワーキャリーやリフターを設置し安全に入浴できるよう支援している。入浴を嫌がる利用者も多いが、声かけの方法を工夫したり協力医の訪問の際に入浴するなど、無理強いすることなく入浴できるよう支援している。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価) その方々の入眠状態、昼夜逆転等々を配慮しながら、ゆっくりと休めれるように支援して行っております。夜間から早朝にかけて妄想が強く出られ不眠状態の方に対しても主治医とご家族様と相談しながら支援させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否がみられる時には時間をおいてお声掛けをしたり、スタッフの交代をしたりと穏やかになるのを待って服薬を確実にできるようにさせていただいております。服薬ミスがないようにご本人様のチェックをスタッフでダブルチェックをしそのうえトリプルチェックし確認印を押すように十分に注意して服薬確認をさせていただいております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用でお裁縫が得意な利用者様にズボンのほつれや破れを修理していただいたりとしております。また、施設で使う雑巾を縫って頂いたりして喜んでいただける喜びを感じていただいております。料理については当ホームの畑で収穫できた野菜の準備と一緒に手伝って頂いたりしてできる喜びまた、優越感にしたっていただけてると感じしております。おやつ作りをしたりしております。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) イベントの参加により演劇鑑賞、伊予漫才鑑賞ボランティアによるフラダンス等々楽しみのある外出支援をさせていただいております、また個別に買い物等々の要望に対して近くのスーパー（エミフル）等々に出かけてゆき楽しみのある生活への支援をさせていただいております。 (外部評価) 調査当日は日和に恵まれ、利用者はバルコニーに出てひなたぼっこを楽しんでいた。職員は、利用者が一日中事業所内で過ごすことがないよう努めており、重度の利用者も一緒に外出できるよう支援している。天気の良い日は、事業所近くの川にいる鯉や亀に餌やりをすることを楽しみに、散歩することを日課にしている。また、大型スーパーへ買い物に行ったり、ぶどう狩り、菜の花見学、隣町の池へドライブに行くなど、生き生き過ごせる工夫をしている。演劇鑑賞は利用者が手を叩いて大喜びするほど気に入るなど、利用者が行きたいところに外出し楽しい時間を過ごせるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の方、お金を持ち外出するとアルコールに走る方、お金の理解が亡くなった方が居られる為ホームでの現金は置かないようにしております。必要に応じて適宜スタッフと一緒に行き買い物は自由に買っていただいております。高額な買い物に関してはご家族様と一緒に外出して楽しんでいただいております。使用金額については事前にご家族様に連絡を取らせていただいております。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書かれる方については積極的に切手をご用意したり、ご家族様への連絡を希望される方についてはその都度リーダー、管理者等々が対応できるような体制を作っております。面会も少なくストレスを感じておられる様子が見られるときにはこちらからお電話させていただくこともあります。お声を聴くと落ち着かれる場合もあるので・・・	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節を身近に感じられるように廊下や壁に季節感のあるものを飾ってみたり、雰囲気作りにも勤めております。失禁があり匂いが充満しないように香りへの配慮も欠かさずさせていただいております。お部屋にはご家族様との写真だったり、孤独を感じないような環境にも注意させていただいております。  (外部評価) 昼スペースにソファを置いてゆっくりくつろげるよう配慮されている。居間にはお雛様が飾られており、利用者は3月が来るのを心待ちにしている。壁には節分の鬼の面を飾るなど季節感が漂うような作品づくりにも余念がない。また、習字やたくさんの写真をうまく組み合わせ一枚に収めた「こころ便り」が貼られ、利用者にとって住まいとして心地よく、整理整頓が行き届いた清潔な生活空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 座位保持が出来なくなった方々に対しても、ターミナルに近い方も廃用症候群で退行現象が遅くなるように少しづつリビングに出てきて頂き、居室で一人ぼっちで過ごすことのないようにみんなの中で落ち着いたスペースとなるように支援したり、各々の力に応じた脳トレをしていただき楽しんで脳の活性化ができたり、写経を楽しまれる方等々共用の場所が居心地の良い場所となるように環境づくりに努めさせていただいております。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 孤独にならないようにご家族様との写真を置いたり、ご家族様がもってきてくださったものを置いたり（お花、ぬいぐるみ等々）してご自分の部屋にいて家族を感じられるよう、また、好きな事ができるように安全なスペースづくりにも配慮させていただいております。  (外部評価) 表札に写真を貼り部屋が分かるよう工夫している。エアコンや電動ベッド、収納家具が備え付けられ、家族の協力のもと、テレビや整理ダンス、家族写真や誕生日の色紙、日本人形、ぬいぐるみなどが置かれ居心地のよい部屋になっている。また、ベッドサイドレールに手作りのカバーをかけ外傷予防に努めたり、天気の良い日には布団を干すなど、利用者が心地良く過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 残された力でお二人で協力してタオルをたたんだり、食事用のエプロンをたたんでいただいたり、料理の下準備をしていた抱いたり、汚物処理のための新聞紙を一枚ずつ折って頂いたり、洗濯物を干していただいたりご自分の洗濯物を整理していただいたりなどできる事への自立の喜びを長く感じていただけるように支援させていただいております。時にはおやつ作りをして頂いたりして楽しんで頂いております。	